

# 東京 口腔リハビリテーションに特化したわが国初の多摩クリニック



中央線・東小金井駅前、鉄筋3階建の多摩クリニック

## 12年10月東小金井駅前にオープン

本学は平成二十四年秋、東京小金井市に「日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック」を開設する。摂食・嚥下機能障害者への口腔リハビリテーションに特化したわが国で初めての診療施設で、東京多摩地区の医療に広く貢献すると各方面から期待されている。

東京飯田橋の附属病院では、口腔介護・リハビリテーションセンター(センター長・菊谷武教授)を開設している。本学では、歯科における新しい。名称は「日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック」を略称する。本邦初のクリニック開設については、本学の

# 日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼人 中原 泉  
編集人 偶数月末日  
定価 1部10円  
編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500

## 本紙創刊 六〇〇号

先進性を広くアピールするため、住友雅人生命歯学部長を室長とする開設準備室で検討を重ね、関係各方面とも折衝してきた。このほど建築認可申請が受理され、建設に着工する運びとなった。工期は九月月間で、平成二十四年(二〇一二年)九月に竣工し、十月に開院する予定となっている。

建築場所は、中央線東小金井南口駅前の本学職員寮跡地で、駅から徒歩一分の至近の距離にある。鉄筋コンクリート造三階建て、延床面積約一四八三㎡(約四四九坪)、建築面積約六一二㎡(約一八二坪)。全館バリアフリーで、一階は訓練室と検査室、二階に治療室、三階に訪問準備室やカンファレンス室などを配置する。

多摩クリニックでは、菊谷教授を中心に、摂食・嚥下機能障害患者をはじめ、言語障害や機能性構音障害の患者に対する

リハビリテーション治療を主体に、附属分院として附属病院(羽村章病院長)と連携をとりながら、地域の医療、介護、福祉関係者と協力して外来診療と訪問診療を行う。歯科医師、医師、言語聴覚士、看護師、管理栄養士、歯科衛生士など専門スタッフによる口腔リハビリテーションとともに、障害児・者の歯科治療部門と口腔外科部門を併設する。また最新の画像診断法を駆使して、歯科放射線診断専門医により、地域の高高度先端歯科医療の支援を行う。

新潟で開催する日本歯科衛生学会 新潟病院歯科衛生科の三富純子士長(県衛生士会長)を大会長に、第六回日本歯科衛生学会が九月下旬、新潟市の朱鷺メッセで開催された。三日間の会期中は千名以上の参加者があり、特別企画「大規模災害、今、歯科衛生士にできること」

東京・寄附講座を開設する 石川博客員教授「NDU生命科学講座」 本学は、このたび生命科学部に寄附講座として「NDU生命科学講座」を新設した。 同講座は、医療法人社団士台会の寄附により設置され、九月一日に石川博客員教授を主任として、100周年記念館階に開設した。担当する領域は、教育は生命歯学探求の一部力リキラム、研究は、各種組織幹細胞の分離培

### 編集雑感

校正が夕方になると、聞を出し(じきにツブサレビスのそばが届けられ、具もない伸びた蕎麦だが、空き腹には旨かった。こうして私は、飯田先輩に新聞作りのノウハウを叩きこまれた。冗談に「歯医者になれなくて」

### 本紙編集50年 創刊600号

発行・編集人 中原 泉

も、新聞編集者で食べるよ」とからかわれた。本紙は、昭和二十三年に創刊され、長らく学生が編集を担った。大きなブランクを経て、大学、学生会、校友会の記事を掲載していた。四〇年代になると、学生会が気負ってミニ新

の PANEL デイスクッションや市民フォーラムがひらかれた。 新潟病院・吉坂看護師 人命救助で表彰 新潟病院では医療職員を対象に定期的に一次救命処置(BLS)の講習を行っている。新潟病院の看護師吉坂真寿美さんが、六十歳代男性が心肺

停止状態になった。彼女は講習会で習得した心臓マッサージを行い、AEDを作動させたところ、男性は救急隊が到着する前に自発呼吸を回復し意識を取り戻した。 吉坂さんは、人命救助活動により、新潟市消防局から表彰された。

医真歯学会で吉岡院生 優秀ポスター賞 新潟生命歯学研究科の吉岡裕雄大学院生、顎口腔全身関連治療学のポスター発表が、第五十五回日本医真歯学会学術総会で、優秀ポスター賞に選ばれた。同学会での受賞は、昨年に引き続き二年連続、通算三度目となった。 受賞した演題は「舌に対する

Candida dubliniensis の感染に関与する因子と病原性に関する研究」で、先端研究センター等との共同研究による。 佐藤元彦先生(52回) 健康文化振興会理事長に 本学五十二回卒の佐藤元彦先生(東京都)は、十月一日に財団法人日本健康文化振興会の理事長に就任した。同財団は昭和二十二年に設立され、健康文化の振興に務める公益法人である。 西村名誉教授逝去 本学名誉教授の西村恒一先生は、去る九月二十九日に逝去された。享年八十六歳。西村名誉教授は、昭和二十五年本学卒業(第三十九回卒)。新潟歯学部第一講座の主任教授を二十三年余つとめた。



# 中学生サマースクール in 東京

## 歯科の診療と研究を体験実習



生命歯学部では、中学生を対象とした歯科体験実習を八月四日に開催した。本企画は、独立行政法人科学技術振興機構より公募された平成二十三年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクトに採択された取り組みである。単なる歯科の体験実習にとどまらず、実習を通じて観察、実験を行い、データを採取した。そのデータの分析や考察から結論を導き出す。いわば歯科の研究活動も含めて体験する試みであり、公募された五校十六名の中学生が参加した。当日の実習は、う蝕が形成されるメカニクスとブラッシングによる予防の意義に関する講義受講後に、う蝕の形成を模した実験を行い、さらに、実習用ファントムと人工エラークを塗布した歯列模型を用いたブラッシング実習と、PMTIC実習を行って各々のPCRを算出した。また本学開発のシミュレーションシステム(患者ロボット)SIMPRODIOを用いて、臨場感ある歯石除去の実習も行った。昼休みを挟んで学内と附属病院を見学。その後、午前中の各実習中に出したPCRの検討やう蝕発症部位に関する過去の統計データとの比較を通して、う蝕とブラッシング困難部位(不潔部位)との因果関係や相関関係について考察した。また各自が導いたそれぞれの異なる結果を持ち寄り、全体討議を行った。閉会式では、住友雅人生命歯学部長から各参加者に修了証が授与され、一日の実習を終えた。

実習後のアンケート調査では、全員から参加してよかったとの意見が寄せられた。歯科に対する興味が増したとの回答が多く、有意義な自由研究、課外授業の場が提供できた。また中学生に歯科の魅力や研究活動の意義を伝える今回の活動を通して、本学教職員にとっても、多くの発見や気づきが得られた貴重な教育の実験実習となった。

(附属病院矯正歯科 宮下 渉)

**辞令**

生命歯学部(寄附講座)NDU生命科学講座を新設する  
 博士(工学) 大山 晃弘  
 准教授に任命する(NDU生命科学講座)  
 U生命科学講座  
 略歴・昭和56年3月早稲田大学教育学部理学科卒業。59年3月上智大学大学院理学研究科博士前期課程修了、平成13年3月徳島大学大学院工学研究

科博士後期課程物質工学専攻修了。  
 平成二十三年九月一日 本学

生命歯学部(寄附講座)歯髄生命科学講座を廃止する  
 准教授 森川 信子  
 歯学博士 森川 信子  
 名誉教授の称号を授与する  
 (生命歯学部)  
 博士(工学) 須藤 遥  
 講師として採用する(生命科学講座・慶応義塾大学)

医学部卒・同大学院医学研究科生理系専攻修了)博士(歯学) 小池 麻里  
 講師として採用する(歯科補綴学第一講座・長崎大学歯学部卒業)  
 准教授 今井 敏夫  
 歯学博士 今井 敏夫  
 衛生学講座に配置換を命ずる(元(寄附講座)歯髄生命科学講座)  
 衛生学講座に配置換を命ずる(元(寄附講座)歯髄生命科学講座)  
 主事補 中世古大介  
 課長に任命する(教務・学生部)

(附属病院) 講師 柳井 智恵  
 博士(歯学) 柳井 智恵  
 准教授に任命する(附属病院口腔外科)  
 略歴・昭和63年3月本学卒業(第77回)。平成5年3月大学院歯学研究科講師として採用する(歯科補綴学第一講座・長崎大学歯学部卒業)  
 口腔科学教室第一講座助手、13年1月附属病院口腔外科に配置換、15年4月講師に就任。  
 教授 (新潟生命歯学部)  
 医学博士 岩崎 信一  
 生理学講座に配置換を命ずる(先端研究センター(組織学))

大学院新潟生命歯学研究科の担当を命ずる(咀嚼分沁神経学)  
 講師 大熊 一夫  
 准教授に任命する(歯科理工学講座)  
 略歴・昭和59年3月本学卒業(第73回)。63年3月大学院歯学研究科修士課程修了。同年4月歯学部歯科理工学教室助手、平成17年10月新潟生命歯学部歯科理工学講座に配置換、講師に就任。  
 准教授 青柳 秀一  
 博士(歯学) 青柳 秀一  
 病理学講座併任を命ずる(先端研究センター)

博士(歯学) 亀田 剛  
 歯科矯正学講座に配置換を命ずる(先端研究センター(歯科矯正学))  
 助 教 櫻井 賢  
 博士(歯学) 櫻井 賢  
 口腔外科学講座に配置換を命ずる(新潟病院口腔外科)  
 先端研究センター(再生医療学)併任を命ずる  
 主事補 佐藤 和男  
 主事補 堀 徹也  
 主事補 堀 徹也  
 用度営繕部副部長を命ずる  
 平成二十三年十月一日 本学



周汝川理事長(29回卒)より 本学、土地の寄贈をうける

本学はこのたび、第二十九回卒の周汝川先生(台湾の中山医学大学理事長)より、土地不動産の寄贈をうけた。土地は東京都杉並区堀の内二丁目の宅地五四・一九m(十六坪)、山梨県富士吉田市上吉田四丁目の宅地二四八・四m(七五坪)である。本学は感謝の意を表して、東京本館のメモリアルホール壁面の顕彰銘板に、周先生のネームを掲げた。写真は八月三十日、土地寄贈のため母校を訪問した周汝川先生と、中原泉学長。

# 平成24年度 日本歯科大学入学試験要項

生命歯学部 検索 <http://www.tky.ndu.ac.jp>  
 新潟生命歯学部 検索 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>

試験区分	一般選抜前期入学試験		大学入試センター試験利用前期入学試験		一般選抜後期入学試験		大学入試センター試験利用後期入学試験		推薦入学後期試験
学 部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	生命歯学部(東京)	新潟生命歯学部	新潟生命歯学部
募集人員	約68名	約20名	約25名	約10名	約10名	若干名	約5名	若干名	若干名 (指定校制・公募制)
出願期間	郵送: 24年1月5日(木)~1月25日(水) 窓口: 24年1月25日(水)・1月26日(木)		郵送: 24年1月10日(火)~1月25日(水) 窓口: 24年1月25日(水)・1月26日(木)		郵送: 24年2月17日(金)~2月28日(火) 窓口: 24年2月28日(火)		郵送: 24年2月27日(月)~3月7日(水) 窓口: 24年3月7日(水)		郵送・窓口とも: 24年3月14日(水)~3月21日(水)
出願場所・試験場	日本歯科大学生命歯学部(東京) 〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 ☎03-3261-8311								日本歯科大学新潟生命歯学部 〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8 ☎025-267-1500
試験日	学力試験、面接試験とも 平成24年2月1日(水)		面接試験: 平成24年2月5日(日)		学力試験、面接試験とも 平成24年3月3日(土)		面接試験: 平成24年3月13日(火)		英語小テスト、面接試験とも 平成24年3月23日(金)
合格発表	2月4日(土)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		2月7日(火)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		3月4日(日)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		3月14日(水)午前10時、生命歯学部(東京)に掲示、合格者に「入学手続要項」を郵送する		平成24年3月23日(金)に本人と高等学校長宛に合否通知を速達郵便で発送する
手続期限	平成24年2月14日(火)		平成24年2月15日(水)		平成24年3月12日(月)		平成24年3月22日(木)		平成24年3月30日(金)

(注) 一般選抜入学試験(前期・後期)・大学入試センター試験利用入学試験(前期・後期)は、生命歯学部(東京)と新潟生命歯学部共通の試験で行い、併願可能。